

カナヘビのお母さんに

なっ てみた

札幌市立宮の森小学校 4年 福井 清夏

《はじめに》

今年の8月16日、札幌市南区でドッグランを整備するボランティアにさん加した時、板の下に白い小さなたまごを13個見つけました。近くにカナヘビがいたのできっとカナヘビのたまごにちがいないと思い、持ち帰ってふ化のようすや特ちょうを観察することにしました。



《たまごの育て方》



帰宅してすぐ、大失敗したと知りました。

図かんなどで調べると、カナヘビのたまごは上下をぎゅくにしておくと育たなかったりからから出られず死んでしまったりすることがあると書いてあったのです。わたしは上下にしるしをつけないうで持ち帰ったので、どちらが上だったかわからなくなっていました。

カナヘビのたまごはにかよりのたまごをそのまま1.5cmくらいの大きにしたような感じなので、見ただけでは上下の区別をつけることができません。しかたないので1/2のかくりつにかけることにしました。ふたつきの小さなタッパーにたまごがあった所の土とふ葉土を3cmくらいのあつさにして水でぬらして、みつにならぬようにたまごをならべてかんそうしないように軽くふたを置きます。たまごは、まわりの水をあて成長するので毎日タッパーの内側のがべにぎりふきて水をかけました。

《ふ化》

産らんからたいたい40日たち、たまごの大きさが2cmくらいになるとふ化が始まります。



★ふ化が始まるサインはたまごの表面にあせのたまりのような水がつきます。



たまごの上のけしにVの字に切れ目ができて、カナヘビの赤ちゃんのアゴがちょこんと見え、よう水が中から出てきます。



V字の切れこがが大きくなり、カナヘビの顔が見え始めます。外の空気になれるため、このまましばらくじっとしていることが多いです。



ふ化したばかりの時は手足の指がくっついていて、よう水がかわくと5本指になります。赤ちゃんの時からはほとんど大人と同じ体つきです。

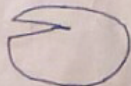


からが体の形に近づいていきます。

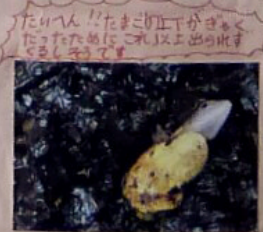


目が閉まりました。ここからすぐスリリとぬれ出すもいたし、完全に出るまでとても時間がかかるとも思いました。

がらの上のすくらしい高さにはV字に水にみがかへり、長さ半分くらい切れたら赤ちゃんが出てくる。たまごがバカッと割れることはなほ。



ふ化が終るあたりからはニワトリのたまごの中のつすいかめのようにずやわらかいけど、ひなし、やわらかい水がたまりません。中にはがためのゼリーのようなよう水がたまり、ふたつ入ります。



たいへん!! たまご上下がまぶさたため、これ以上出ると危しそうです。



ピンセットで上下をまかくして、お尻からあつらいつり出してきて死なせすにすみました。